

令和7年度第3回名取市社会教育委員の会議概要記録

○日時	令和8年1月27日(火) 午前10時00分～11時03分
○場所	仙台法務局名取出張所2階 会議室4
○出席者(9名)	菊池委員、菅原委員、和栗委員、伊藤委員、相澤委員、本郷委員、齋藤委員、東門田委員、鈴木委員
○欠席者(1名)	久米委員
○事務局出席者	鈴木教育長 山家教育部長 生涯学習課 佐々木課長 熊谷課長補佐兼係長 柳館主幹兼公民館係長 加藤図書館長
○傍聴人	なし

会 議 概 要

1 開 会 進行：熊谷課長補佐兼係長

2 あいさつ

鈴木教育長

年度末のお忙しい時期に、ご参加いただき感謝申し上げます。市内の学校ではインフルエンザのB型が流行しており、まだまだ油断できない状況である。昨年の夏はA型が流行し、現在はB型が流行しているとのことである。

生涯学習関連では、今週の土日、海の子山の子交歓会があり、海の子である名取の子供たち24名が、山の子である上山の子供たち24名と交流する予定である。インフルエンザと雪が心配ではあるが、全員がいい思い出をつくってほしいと願っている。

今日は次第の通り、議事が4点である。忌憚のないご意見を願いたい。

鈴木議長

先日、選挙に関連する単語をAIに入れてみたところ、あなたが投票すべき政党はここですと出て、AIの進化はすごいと感じたところである。そこで、AIに「AIがさらに進化したら生涯学習はどうなる」と質問してみた。AIは「進化すればするほど効率化とか最適化とか、正解の提示は機械が行う。一方、人の気持ちを酌んだり、価値感とか戸惑いながら折り合いをつける「人と人の関係」は非効率で、正解が1つしかない領域は、むしろ、生涯学習が大切である」と答えた。だから、AI時代になればなるほど、逆に生涯教育、社会教育の価値は上がる。対話力や多世代交流などの経験により自分の考えを言葉にして相手に伝え、聞くという場はますます必要になる、という生涯学習の大切さをAIからお墨付きをいただいた。本当に人と人との繋

がりってという部分で、社会教育ってのは大事になると改めて思ったところである。

今日は委員の皆様からご意見をいただきながら、8年度の方向性を話し合っていきたい。

会議成立の確認

名取市社会教育委員会議規則第5条第1項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言。

会議公開の確認

名取市審議会等の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げる。

傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。非公開の議事は予定していないが、非開示情報が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

3 前回会議の報告

前回会議録をすでに送付し確認済みであるため、報告に代えることを告げた。

4 議 事

名取市社会教育委員会議規則第3条第2項により、鈴木議長が議事進行

(1) 協議事項

ア.令和8年度名取市教育基本方針(案)について

資料1について説明。(説明員：生涯学習・青少年係 熊谷課長補佐兼係長)

鈴木議長

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等いかがか。

ご意見がなければ、令和8年度名取市教育基本方針(案)について原案のとおり承認してよろしいか。

異議がないようなので、原案のとおり承認することに決定する。

イ.令和8年度名取市公民館運営方針(案)について

資料2について説明。(説明員：公民館係 柳館係長)

鈴木議長

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等いかがか。

本郷委員

9ページのところの、地域をつなぐという項目で、多種多様な人々と書いてあるが、意味が読み取れない。外国人とか多様なものを含んでという意味なのか。「多種多様な人々」という表現の仕方が気になる。

事務局(柳館係長)

共生社会というような意味合いで用いてる部分である。国際的な視点というところもあるが、

障がいの有無や、世の中の生きづらさを感じて生活されてる方など、幅広くとらえた形の表現である。

鈴木議長

他にいかがか。他にご意見がなければ、令和8年度名取市公民館運営方針(案)について原案の通り承認してよろしいか。

異議がないようなので、原案のとおり承認することに決定する。

ウ.令和8年度名取市図書館運営方針(案)について

資料3について説明。(説明員:図書館 加藤館長)

鈴木議長

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等いかがか。

東門田委員

すばらしい取組である。世代間交流として、eスポーツなど、尚絅学院大学の学生もいろいろ活動させていただいた。読み聞かせ等も機会があれば声がけいただき、連携していきたい。

鈴木議長

すばらしい提案である。是非検討いただきたい。

先日、図書館に行ったところ、たくさんの高校生中学生が勉強していた。スペースも随分増やされていたが、それがほぼ全席埋まっていた。学習の場の拡大が確実に進められて、効果をもたらしていることを実感した。さらに高齢者向け事業にも取り組むとのことである。

また、新聞に石川県の被災地との交流を図書館がしているということを読んだ。紹介いただきたい。

事務局(加藤館長)

12月15日~3月15日まで、能登半島地震で被災を受けた図書館などを、写真とスライドショー映像等で紹介している。また、それらに関連する図書、例えば松本清張の小説やご当地ガイドブック等を設置し、市民の方に能登に目を向けてもらおうという取組である。

日本図書館協会が現地調査をした際に、図書館周辺に仮設住宅があり、居住者が本や新聞雑誌を読みに図書館を利用してるが、本の支援は多いが雑誌新聞の支援が思わしくないという調査結果があった。その状況を図書館友の会「なとと」に相談したところ、友の会で市民向けに募金活動をしたいと提案があり、関係機関と協議を行い募金箱設置に至った。図書館利用者も東日本大震災の経験から賛同共感し募金をされる姿を見て、感動しながら取り組んでいる。

鈴木議長

議事とは直接かかわらないが、貴重な情報である。他にいかがか。

和栗委員

高齢者はなかなか図書館の利用方法がよくわからない方が多い。もっと各老人クラブの方で講習会などPR活動をしてはどうか。

事務局(加藤館長)

広報なとり2月号で、記事を掲載する予定であるが、只今、委員のアドバイスにより老人クラ

ブなどを通じてPRができることを知った。来年度行う「大人の寺子屋」について、今年度は試行的に実施するため、検討してみたい。

鈴木議長

他にいかがか。他にご意見がなければ、令和8年度名取市図書館運営方針(案)について原案の通り承認してよろしいか。

異議がないようなので、原案のとおり承認することに決定する。

エ.名取市子ども読書活動推進計画(第三次)素案について

資料4について説明。(説明員:生涯学習・青少年係 熊谷課長補佐兼係長)

ご意見は1月30日(金)までに意見書を提出願う。

鈴木議長

ただいまの説明にあったとおり、意見書に記載のうえ、会議終了後或いは1月30日までに提出いただくことになる。質問があればお受けするが、いかがか。

異議がないようなので、事務局で進めていただきたい。

次に(2)その他について事務局から説明をお願いしたい。

(2) その他

事務局(熊谷課長補佐)よりお知らせ

- ・二十歳を祝う会の概要報告

開催日…令和8年1月11日

対象者…889人中、607人の参加で、参加率は68.3%(前年度より0.7ポイント増)

YouTubeによるライブ配信…1月23日現在、再生回数1814回(前年同時期522回の増)

鈴木議長

ほか、委員より何か意見等はあるか。

本郷委員

図書の購入から本棚に並ぶまで、日数はどのぐらいかかるのか。

事務局(加藤館長)

データ入力やブックコートをかけるなど、準備が整うまでに1ヶ月くらいはかかる。リクエストカードというものがあり、図書館に読みたい本がなく、これが読みたいとリクエストカードを書いてもらうと優先的に準備するため、通常よりは短い時間で設置している。

本郷委員

新聞などで広告見て、面白そうだから読んでみたいと思ったときに、1ヶ月2ヶ月経つと忘れてしまう。

事務局(加藤館長)

リクエストカードに書いていただければ、優先順位を上げて対応させていただくので、是非利

用いただきたい。

鈴木議長

各委員はそれぞれの分野で活躍されている。情報交換し、社会教育・生涯教育に繋げていきたい。各委員の活動を教えてほしい。

菊地委員

増田中学校は生徒数が多いため、本が大好きという子どもたちも結構多い。司書の方にも協力いただき、子供たちがいかに本に親しめるかという取組をしている。

例えば、「お勧めする本はなんですか」では、私も読んだ本などを紹介すると「校長先生が読んだ本なんだって」と喜んでくれる。不読率が高いということで、それを解消するために、何か興味を持たせることを工夫している。誰かが好きな本だったらどんな気持ちでこれを読んだのかとか、ポップが上手に書かれているとそこに食いついてる感じがする。放課後、子供たちが図書館をたくさん利用していることを実感している。

菅原委員

宮城県農業高校も図書館活動に非常に力入れている。図書委員が主催の「ブックカバーを作ろうワークショップ」というのを最近実施した。

それが何に繋がるかという、参加者には引換券を渡し、後日、宮農の「図書館カフェ」というのを催し、そこでスイーツを用意してみんなで食べるというイベントを実施した。図書委員が手づくりでクッキーを作り、それからお茶も出して、普段は図書館は飲食禁止であるが、その日だけ特別ということで、大変にぎわった。

和栗委員

先日、名取が丘地区の「新春のつどい」で図書館がきてくれていた。私も6冊ほどいただけてきたが、綺麗なままの本が結構あった。もったいないな、と感じた。何かいいアイデアでもあればと感じた。

事務局(加藤館長)

ブックリサイクル事業として、皆さんに選んでもらい持ち帰っていただいている。12月に図書館まつりを開催した際に市民の方々から寄贈された本のうち、ほとんど新品に近いようなものを200~300冊持参した。なかなか図書館に来られない方もいらっしゃると思い選定させていただいた。

伊藤委員

婦人会では、児童センター、小学校、公民館はもとより地域との密接な関わりをずっと持っている。子供たちへの事業でミシンの手伝い、ほかに市民歌の手話や名取音頭の普及など。各地区に婦人会があり活動している。

閑上地区では、閑上大漁唄込が無形文化財になっており、民族芸能として図書館のアーカイブで館長さんにもお世話になった。今、昔からの地域の民俗芸能を大切にしていきたいと思いますというのがなかなか難しく、また高齢化などもある。閑上小中学校で閑上大漁唄込を支援し、運動会でやっていただいている。お母様方に婦人会の会員募集もしてるいが、色々な地域から集まっているためご理解が少なくなってきたと感じる。

新規加入者少ない現状のなか、今回愛島地区の新興住宅にお住まいの方から話を聞きたいと連

絡があり、若い人たちが入ってくださるのを期待しているところである。

相澤委員

図書館に関しては、息子が中学3年生で、結構な頻度で利用させていただいている。

公民館に関しては、多世代交流事業で今年も館腰小学校の5年生メインで行う「ハッピーフェス」があるが、物品販売をすると市から助成金がおろないと聞いた。その辺を改善できないものか。私もお手伝いさせていただいて、すごくいいイベントだったので、その助成がないのは子供たちに対して不自由させるのではないかと感じた。

事務局(柳館係長)

昨年度のフェスティバルでは、想定以上に人の入りが多く、フランクフルトやきゅうり等の販売により収益が上がったと聞いた。補助金は1事業5万円であるが、それを上回る収益になってしまうと、補助金がなくても運用できるため、対象外になってしまうところがある。

本郷委員

名取市文化協会の会長を仰せつかっており、文化協会は設立から50年になる。まさに生涯学習の実践そのものを行っている。市の担当課は文化・スポーツ課が所管になっている。

一方、生涯学習として公民館で様々な講座などを行っているが、それは文化協会とほぼ同じような内容をやっている。

そこに交流がないと感じている。公民館でいろんなものを学習して覚えた、その後どうかという、それが文化協会に繋がってきていない。自分の生涯学習に繋がっていったない。公民館でいろいろな活動をやってもそれで終わってしまう感じがする。文化・芸術・スポーツも含めてやっていくのであれば、体育協会、文化協会に繋がってこそ、生涯学習だと思う。それが繋がっていないように思う。

文化協会の中でもそれを課題だと捉えているが、生涯学習に繋がっていかないと駄目だと思う。この生涯学習推進大会とか公民館まつり、そこで終わってしまう感じがして、文化協会などに繋がっていない。我々としては非常に悩ましい。何かいい方法はないものかと。公民館の公民館まつりと文化協会の芸術祭、全く繋がりが無い。本来は繋がって欲しい。

齋藤委員

各種方針を見させていただき、今回のキーワードとしては「地域、家庭、学校との連携」、「出会いの場の創出」といったところで、どれにも盛り込まれている点かと思う。今、山の方の団地ではどんどん子供会が解散に至っている。みどり台地区も今年解散が決まった。子供たちを取り巻く環境について、ただ単に負担だ、やめたい、ではなく、どうしても少子高齢化の中で今までと同じ活動が継続できなくなってきているのが現状である。

同じように活動するにも、子供の数が減っているということは、保護者世帯も減っているわけで、マンパワーが絶対的に足りない。生活様式も共働きで、男女とともにフルタイムで働く家庭が増えてくると少人数で同じ活動を同じ時間をかけてっていうのがやっぱりどうしても難しくなってくる。子供会は解体するけれど、今までやってきたものは保護者はもちろん、地域と一緒に形を変えて継続していく仕組みを自治会の中で作っていきましょと、単なる解散ではなく、そういう形に変化してきている。

今そういう意味では変革の時期にあり、例えば図書館の方でも、貸出冊数は減っているけれど、

来館者数は増えている。そういう意味では、やっぱり ICT 化で電子書籍とか、本は借りなくても、読書ができる環境の中で、貸し出しではなくてもそこに出会いの場なんかを求めて、あとは実際にその環境の中で手を触れて、その場の環境の雰囲気も含めて、読書を楽しんで帰られる方っていうのが増えてきてるっていうのもある意味いるかと思う。視点を変えて取り組んでいくところがすごく必要だ。

また、今は生成 AI が出てきている。子供たちはすごく進んでおり、同じ生成 AI でも、チャット GPT には「チャッピー」と名付けて使っている。Gemini (ジェミニ) というまた別な生成 AI があるが、用途の使い分けをしている。辞書機能で文書とかを作成して欲しいときは Gemini (ジェミニ) を使って、自分の心に寄り添って欲しいときは、チャッピーを使うようだ。チャッピーは成長させられ、自分の情報などを盛り込んでいくと、否定されない寄り添ってくれる意見を出してくれる。日常の相談をしても、自分の理想とする答えを返してくれる。

しかし、自分に寄り添ってくれるだけじゃなく、多様な意見とか、それこそ感情で正解がないものに関して違う視点を与えてくれるっていったところでは、やっぱりリアルな人との出会いがすごく大切になってくる。そういった場の創出、そしてそこに子供たちが出たいっていうところが例えば図書館であれば、読書の推進に興味を示せるような仕掛けを発信していくとか、目的達成のためにアクションをおこすといったところは、やっぱりこれからどんどん変化していかなくちゃいけない時期かと思う。今回の方針はそういう部分の表れもあるのかなと共通するところがあると感じた。今後も、充実した活動をお願いできればと思う。

東門田委員

うちの大学は地域連携、生涯学習を大学の柱の 1 つにしている。地域とともに学生をスタートする、というのが方針になっていて、卒業後、東京とか、都市部に送り出すのではなく、地元の地域で役立つ人材に育てていくのがうちの大学の方針である。その中で、生涯学習を学生にも参加してもらいながら実施しており、年間 40 以上講座を開いている。

これが、なかなか人が集まらない。やっぱりターゲットが読み込めないというか、いろいろアンケートをとってやってはいるものの、どうしても表面的になっている部分もある。例えば今だと、先ほど語られた AI とかデジタルとか、ウェルビーイングが大事とか、そういったところでもやっているが、うまく遡及していかない。そういった部分で名取市の皆さんをどう呼び込みすればいいかと考えている。

図書館について、私の子供が高校 1 年生でよく通わせていただいているが、図書館に行くも全く本は読まない。私本を読むようにと本を渡しても、自分が好きな本と、子供が読みたい本は全く一致しない。図書館に行って一生懸命受験勉強しているが、やっぱり場として使っているようだ。家だと駄目だし、学校でも同級生の視線が気になると、1 人になって学習できると。どうすれば子供が本読むようになるのかと少し悩んでいるところ。

尚絅学院大学では、図書館を開放し、地域の皆さんに貸し出しも行い、地域交流の場としても使っていただくことができる。学食をやっているときには普通に使っただけなので、そういったもので普通に地域の皆様が歩きながら、学生と同じように勉強する、本を読むというような環境を提供させていただいてる。こういった活動をより利便性の高いものにしていけたらと思う。

鈴木議長

皆様のご意見とかいろいろな立場の方の声を聞くのはいい機会だと思う。私は今、学校に行けない子供たちの支援をする仕事をしているが、話に出てきた「人と人の繋がり」とか「社会との繋がり」というところで困難を抱える子供たちがいるのは、リアルな繋がり、体験などが不足していると思う。この生涯学習、社会教育は、やっぱり1対1が働きなんだなっていうのを改めて思った。

他になれば議事終了ということで議長を降りたい。円滑な運営に感謝する。

事務局(熊谷課長補佐兼係長)

以上をもって、令和7年度第3回名取市社会教育委員の会議の一切を終了する。

(引き続き、名取市生涯学習推進協議委開催のため、閉会のあいさつ省略)

5 閉 会

11:03 終了

以上